

新人看護職員 キャリアパス(急性期)

*カルの記載は、教育担当表が新人看護職員員の免許登録を確認後、開始とする。
 *ローテーション研修後、1週間は日勤とし、その後夜勤再開する。

平成30年5月改訂
 令和5年4月改訂
 令和6年3月改訂
 令和7年3月改訂

		2026年度			部署			氏名							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
派遣時期		1ヶ月後		3ヶ月後		6ヶ月後		12ヶ月後							
新人看護職員研修計画	看護職員としての自覚と責任ある行動	<ul style="list-style-type: none"> 看護職員としての自覚と責任ある行動 ①医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人格を擁護する。 ②職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する 患者の権利と患者・家族との良好な人間関係の確立 ①患者を一人ひとりで尊重し、安否的・共感的態度で接する ②職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する ③守秘義務を厳守し、プライバシーに配慮する ④看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する ⑤看護における役割・心構えの理解と適切な行動 ①病状及び看護量の理解と行動する ②病院及び看護部の組織と機能について理解する ③看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する ④自己評価及び他者評価を踏まえた自己の学習課題をみつめる 				<ul style="list-style-type: none"> 看護職員としての自覚と責任ある行動 ①看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する 患者の権利と患者・家族との良好な人間関係の確立 ①患者のニーズを多面的・総合的に把握する ②患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る ③看護における役割・心構えの理解と適切な行動 ④病状及び看護量の理解と適切なコミュニケーションをとる ⑤看護にわたる主体的な自己学習の継続 ⑥課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する 				<ul style="list-style-type: none"> 患者の権利と患者・家族との良好な人間関係の確立 ①家族の意向を把握し、家族にしが担えない役割を判断し支援する ②看護における役割・心構えの理解と適切な行動 ③患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る ④看護にわたる主体的な自己学習の継続 ⑤学習の成果を自らの看護実践に活用する 					
	看護実践における管理的側面	<ul style="list-style-type: none"> 看護実践における管理的側面 ①施設内の医療情報に関する規定を理解する ②プライバシーを保護して医療情報や記録物を取り扱う ③業務上の報告・連絡・相談を適切に行う ④業務の基準・手順に沿って実施する 				<ul style="list-style-type: none"> 安全管理 ①施設における医療安全管理体制について理解する ②インシデント(ヒヤリ/ハット)事例や事故事例の報告を速やかに行う ③業務記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する ④決められた業務を期限内に実施できるように調整する ⑤決まった業務を期限内に実施できるように調整する ⑥施設内の消火設備の定位置と避難ルート把握し患者に説明する ⑦規定に沿って適切に医療機器、器具を取り扱う ⑧看護用品・備品材料の整備・点検を行う 				<ul style="list-style-type: none"> 情報管理 ①施設内に對し、適切な情報提供を行う ②複数の患者の看護ケアの優先度を考えて行動する ③業務の管理 ④業務に適切に請求・受領・保管する(含、毒薬・劇薬・麻薬) ⑤血液製剤を適切に請求・受領・保管する ⑥災害時の防災訓練に参加し、災害発生時(地震・火災・水害・停電等)には決められた初期行動を円滑に実施する ⑦コスト管理 ⑧患者の負担を考慮し、物品を適切に使用する ⑨費用対効果を考慮して衛生材料の物品を適切に選択する 					
	看護職員としての自覚と責任ある行動	<ul style="list-style-type: none"> 看護職員としての自覚と責任ある行動 ①看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する 患者の権利と患者・家族との良好な人間関係の確立 ①患者のニーズを多面的・総合的に把握する ②患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る ③看護における役割・心構えの理解と適切な行動 ④病状及び看護量の理解と適切なコミュニケーションをとる ⑤看護にわたる主体的な自己学習の継続 ⑥課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する 				<ul style="list-style-type: none"> 看護職員としての自覚と責任ある行動 ①看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する 患者の権利と患者・家族との良好な人間関係の確立 ①患者のニーズを多面的・総合的に把握する ②患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る ③看護における役割・心構えの理解と適切な行動 ④病状及び看護量の理解と適切なコミュニケーションをとる ⑤看護にわたる主体的な自己学習の継続 ⑥課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する 				<ul style="list-style-type: none"> 看護職員としての自覚と責任ある行動 ①看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する 患者の権利と患者・家族との良好な人間関係の確立 ①患者のニーズを多面的・総合的に把握する ②患者・家族にわかりやすい説明を行い、同意を得る ③看護における役割・心構えの理解と適切な行動 ④病状及び看護量の理解と適切なコミュニケーションをとる ⑤看護にわたる主体的な自己学習の継続 ⑥課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する 					
集合研修	<ul style="list-style-type: none"> ①年間研修計画一覽参照 	<ul style="list-style-type: none"> ローテーション研修 (スケジュールは別紙) 技術習得支援調整 													
部署内教育	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 	<ul style="list-style-type: none"> プリセプター会議 プリセプター・プリセプティ会議 		
受け持ち患者	<ul style="list-style-type: none"> プリセプターの受け持ち患者を一人、副受け持ち看護師として受け持つ プリセプターフォローのもと、1名の患者を受け持ち、看護課程の展開を習得する。 														
日勤	看護記録	<ul style="list-style-type: none"> ベアナーズが支援する (経過表はダブルサインする) 自立に向けて支援する。7月～(ベアナーズが支援する) 10月～(フォロワーが支援する) 													
	チェックしたシ配薬に	<ul style="list-style-type: none"> ベアナーズとダブルチェックする。 自立に向けて支援する。 													
	患者数	2~4名	3~5名	4~6名	5~7名	5~7名	5~7名	6~8名	6~8名	6~8名	6~8名	6~8名	6~8名	6~8名	
患者選択	<ul style="list-style-type: none"> ▼軽症患者・及び課題(点満管理など)を明確にして意図的に選択する。 ▼部署の状況に応じて、手術や検査、処置などの比重を増やす、もしくは人数を増やす ▼重症患者は、一人で担当しない。 														
入浴介助	<ul style="list-style-type: none"> 必ず看護師2名で実施する。 自立に向けて支援する。 														
夜勤	看護記録	<ul style="list-style-type: none"> ベアナーズが支援する (経過表はダブルサインする) 自立に向けて支援する。7月～(ベアナーズが支援する) 10月～(フォロワーが支援する) 													
	チェックしたシ配薬に	<ul style="list-style-type: none"> ベアナーズとダブルチェックする。 自立に向けて支援する。(日勤の自立状況を参考に) 													
	患者数	0名	2~4名	5~10名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	10~15名	
患者選択	<ul style="list-style-type: none"> ▼軽症患者・及び課題(点満管理など)を明確にして意図的に選択する。 ▼部署の状況に応じて、手術や検査、処置などの比重を増やす、もしくは人数を増やす ▼重症患者は、一人で担当しない。 														
その他	<ul style="list-style-type: none"> 早出 選出 NA業務 	<ul style="list-style-type: none"> 夜勤のイメージ化のため実施する ベアナーズが指導 夜勤のイメージ化のため 夜勤のイメージ化のため実施する 日常業務の流れを理解する NAと一緒に 夜勤者のフォローのもと実施 													

*「自立に向けて支援する」とは、「技術チェックリストで全て○になった場合、1人で実施してよいが、総合的アセスメントができるまでは支援する」とことである